

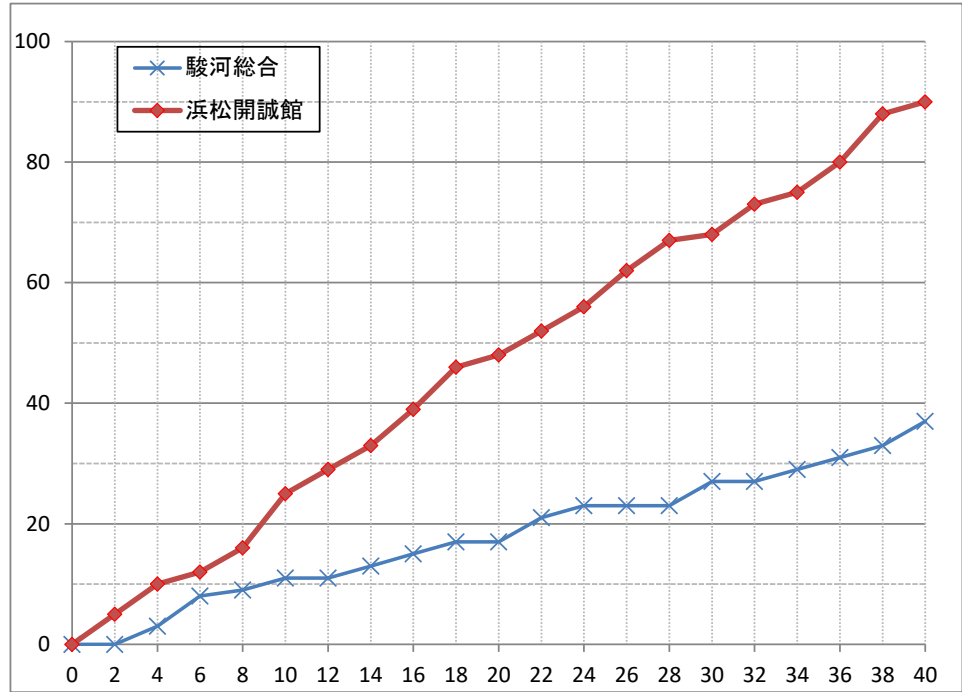
平成30年度東海高等学校バスケットボール新人大会静岡県予選兼静岡県高等学校バスケットボール新人大会県大会

【得点経過】

決勝リーグ	
試合日	2019年2月2日
会場	静岡市北部体育館
コート	Bコート
開始時間	11:40

TEAM A		TEAM B
駿河総合 (中部)	37	90 浜松開誠館 (西部)
	11 - 25	
	6 - 23	
	10 - 20	
	10 - 22	
	OT	

TEAM A 駿河総合 (中部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
13	*	栗田 遥 奈	0	0	0	0	1
17		土勢 佳 穂	0	0	0	0	1
21		佐々木 聖 愛	0	0	0	0	0
25	*	四 電 恵 子	3	0	1	1	3
30	DNP	堀池 つぐみ	0	0	0	0	0
47		森谷 結 愛	2	0	1	0	0
51	*	小原 嘉 佳	4	0	2	0	2
54	*	鈴木 美 優	17	2	4	3	1
78	*	加 茂 恵	11	0	5	1	3
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			37	2	13	5	11



TEAM B 浜松開誠館 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	松岡 木 乃 美	25	0	11	3	1
5	*	大西 莉 央	6	0	2	2	1
6	*	奈須 梓 咲	6	0	2	2	0
7	*	黒川 菜 津 奈	16	4	2	0	2
8		塩 澤 小 夏	6	2	0	0	2
9	*	山本 涼 菜	21	2	6	3	3
10		樋口 沙 彩	10	0	5	0	1
11		高井 なおみ	0	0	0	0	0
12		太田 明 伽	0	0	0	0	1
13		川延 美 裕	0	0	0	0	0
14		清水 夢 佳	0	0	0	0	0
15	DNP	大石 沙 紀	0	0	0	0	0
16	DNP	柴田 麻 子	0	0	0	0	0
17	DNP	古 橋 杏	0	0	0	0	0
18	DNP	西田 悠 乃	0	0	0	0	0
19	DNP	中田 絵 美	0	0	0	0	0
20		マッカラム 杏菜	0	0	0	0	0
21	DNP	佐藤 ほ な み	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			90	8	28	10	11

【戦評】

1PD 両チームマンツーマンでスタート。開始直後は両チームともなかなかシュートが決まらない。開始1分半で駿河総合78加茂が2回目のファールをおかしてしまう。開誠館はディフェンスを1-2-2にかえりリズムを変化させ、⑤大西のドライブが決まったところで駿河総合1回目のタイムアウト。その後も開誠館は全員がシュートチャンスをもにす。一方、駿河総合は54鈴木のシュートで応戦。ファールがかさんでしまう駿河総合に対し、開誠館はバランスよく得点を重ね、25-11の14点リードで終了。

2PD 両チームスターティングメンバーに戻し、駿河総合はマンツーマン、開誠館は1-2-2プレスからマンツーマンディフェンスでスタート。駿河総合はゾーンアタックに手こずりうまく流れをつかむことができない。対する開誠館は着実に得点を重ねオフェンスで駿河総合のディフェンスを翻弄する。駿河総合54鈴木がシュートを決めるも、その後が続かず得点を伸ばすことができない。残り4分、開誠館のタイムアウト後、さらに気迫のこもったディフェンスで駿河総合に攻撃のチャンスを与えない。48-17開誠館が31点リードで前半終了。

3PD 両チームマンツーマンでスタート。前半同様開誠館のプレッシャーが厳しく駿河総合は得点することができない。駿河総合はメンバーチェンジをし全員で試合に臨む。開誠館は終始ディフェンスの手を緩めることなく駿河総合に思うようにプレーさせない。68-27の41点差で終了。

4PD 両チームマンツーマンでスタート。開誠館は変わらず厳しいディフェンスから攻撃のリズムを作り多彩な攻撃をみせる。駿河総合は51小原、47森谷がシュートを決めるが単発に終わってしまう。残り1分10秒開誠館はタイムアウト後にベンチメンバーを出場させる。変わったメンバーも厳しいディフェンスを続け駿河総合を寄せ付けず、90-37で開誠館がリーグ戦2勝目をあげた。

戦評(文責) 木村 瞳(富士高校) 記入者 藪崎 智也(駿河総合高校)